

町会長連合会だより



唐沢山…藤原秀郷公の居城跡で、深い歴史を持つ山

平成28年3月1日

# 第15号

発行 佐野市町会長連合会  
編集 会報編集部会

## 地域での防犯活動!!

～関川町会 青色防犯パトロール～



### 近年の状況

近年、統計上では空き巣や不審者などによる犯罪件数、交通事故発生件数は減少傾向にありますが、依然として残忍な事件は後を絶ちません。このような状況の中、地域住民の防犯意識が徐々に高まり、自分たちの住むまちを安全で安心して暮らせるまちにしていきたいという活動が活発になってきています。現在、青パト（青色回転灯装備車）による防犯パトロールも盛んになりはじめ、日本全国で約40,000台の青パトが活躍し、犯罪抑止・事故防止に成果を上げています。



### 始まった経緯

10年ほど前に発生した今市事件や当時近隣で発生していた空き巣対策等の防犯活動のため、平成17年に関川町会では防犯パトロールを開始しました。また昨年は、町内の役員が講習を受け、高い効果が期待できる青色防犯パトロールを開始したところです。青色防犯パトロールの良い点として、人目につきやすく、天候に影響されず

少人数でも広範囲にわたるパトロールができ、地域全体の防犯意識向上につながる等の効果が期待されます。

### パトロールの実施内容

関川町会では全25班で構成されており、各班1名ないし2名が参加して、毎月8日の夜に活動を行っています。参加者は、防犯ベストを着用し、赤色灯を手に持ち、拍子木を鳴らしながら、町内のパトロールを行います。また、班毎にパトロール日誌を作成しており、誰が、いつ、どこで活動し、活動時に異常が無かったかを記録しています。地域内の防犯灯の電球が切れていれば、日誌に記載したうえで対応を行っているとともに、危険な箇所がないかなどの点検もかねてパトロールしています。

### 今後の展望 関川町会中山文雄町会長談

「防犯パトロールを定期的に行うことで、地域の防犯意識の向上が期待できるだけでなく、町会の住民同士が顔を合わせることにより、交流が生まれ、絆が深まる。住みよいまちづくり、地域づくりのためにはこのような活動を含め、町会内での活動は欠かせない。より良い地域づくりのため、関川町会の誇りである防犯パトロール活動を続けていきたい。」

永年在職の町会長・町会役員の方々が表彰を受けられました

1月14日佐野市町会長新春祝賀会（於…ホテルサンルート佐野）、



1月29日栃木県自治会連合会会長研修大会（於…栃木市栃木文化会館）において、長年にわたる町会活動や地域社会福祉向上に貢献された方々が、表彰を受けられました。

【佐野市町会長連合会永年在職町会長10年表彰】

- 田澤 真人 大町
松本 忠 金吹町
高久 昭恵 七軒町
島田 一男 田島町

【佐野市町会長連合会永年在職町会長5年表彰】

- 神戸清次郎 相生町（佐野）
田中 宗男 大橋町（市街部）
加藤 正博 大和町
清水富又夫 天神町
荒居 利治 犬伏中町
関根喜美子 米山町
下川 義正 上町西

- 葛貫 宏平 御神楽
長島 信夫 水木
【佐野市町会長連合会永年在職町会役員表彰】
川邊 一雄 本町（佐野）
大川 裕 本町（佐野）
佐瀬 恒夫 亀井町
上岡 和夫 浅沼町
柏倉 一男 赤見町（大門）
須藤 實 下多田

【栃木県自治会活動功労者知事表彰】

- 小野 一郎 堀米町（内堀米）
【栃木県自治会連合会自治振興功労者表彰】
田澤 真人 大町
松本 忠 金吹町
高久 昭恵 七軒町
島田 一男 田島町



総務大臣表彰、全国自治会連合会功労者感謝状を受賞しました

平成27年11月25日、総務省において、田中正美若宮下町町会

長が町会長として23年以上にわたり地域的な共同活動を通じて良好な地域社会の維持及び形成に顕著な功績があることが認められ、自治会等地縁による団体功労者総務大臣表彰を受賞されました。



平成27年10月27日、石川県立音楽堂において、篠崎芳朋下多田町会長が永年自治会連合組織の代表として、全国自治会連合会の発展に顕著な功績があると認められ、全国自治会連合会より感謝状が贈呈されました。



安心して安全なまちづくり功労団体知事表彰を受賞しました

地域における自主的な防犯活動の功績が認められ、4町会が受賞されました。

- 金屋仲町町会 浅沼町町会
並木町（大門）町会 泉町町会



町会は地域において様々な役割を担っています！

町会は住民の皆さんと共に災害時の対応、隣近所との絆づくり、いざという時の相互扶助など地域のために様々な活動を行っている団体です。町会活動に対してより深いご理解をいただき、積極的に参加してください。



- 安全・安心な暮らしを守る活動 町会では子どもたちの安全を守るための自主防犯パトロールや自主防災の組織をつくっています。また、防犯灯の維持管理や交通安全活動も町会が行っています。
●親睦交流活動 円滑な地域社会を進めるうえで、地域の人々が交流することは非常に重要です。町会では、お祭りや子ども会、敬老会への協力を通して子どもから高齢者までの暮らしを後押ししています。
●環境美化活動 地域で快適に暮らせるよう、清掃活動を通しての環境美化活動を行っています。ごみ集積所の管理運営も町会が行っています。
●地域情報活動 地域の事業案内や市役所・学校・警察などからの生活に必要な情報を回覧板や広報の配布を通して、提供しています。災害時などの緊急時においても有効的な手段であると言われています。

# 浅沼町会文化財保護 おしどり塚整備

## 整備への経緯

浅沼町の浅沼八幡宮境内に設置されている市文化財「安蘇沼おしどり塚歌碑」は、近年、歌碑周辺の木の根が隆起して碑が浮き上がり倒壊の危険があったことから、同町会が、倒壊防止のため周辺整備を行い、去る9月4日にお披露目されました。

## 整備内容

歌碑の設置場所を、約50cm南側に移動し、木の根を避けるとともに、以前、同神社の敷石として使用されていた岩舟石を周辺に敷きつめました。総工費は約60万円です。市文化財課より半額の補助をしていただきました。

## おしどり塚の言い伝え

碑に刻まれているのは、「日くるればさそひしものを 安蘇沼のまこもがくれのひとりねぞうき」という歌で、



鎌倉時代の仏教説話集「沙石集」に収められた、「おしどり塚伝説」の一節です。  
太田式宣という



武士が安蘇沼で二羽のおしどりの一方を弓で射て捕まえました。その晩、夢に現れた女が悲しみを訴えます。式

宣が目覚めると、おしどりがもう一羽寄り添って死んでおり、二度と殺生はしないと誓い塚を築きました。碑は1831年、相生町の千鳥が淵に建てられました。明治期に現在地へ移され、1969年、市文化財に指定されました。

## 整備事業を終えて

### 浅沼町会上岡良雄町会長談

「倒壊防止と共に、貴重な文化財を後世に残したかった。地域の皆さんにこの話をもっと知ってもらいたい。」

※おしどりは、「おしどり塚」の故事や浅沼八幡宮境内にある歌碑により、佐野市にたいへん縁の深い美しい水辺の鳥として佐野市の鳥にもなっています。全国各地に伝わる雌雄のおしどりに関する故事は、「おしどり夫婦」の語源とも言われており、仲むつまじい姿は佐野市民の家庭円満と幸せを表すものです。

## 「産業団地造成やフィルムコミッションによる地域活性化」役員研修会を実施

### 研修にあたって

去る11月11日、町会長連合会役員研修会を実施しました。

地域の代表である町会長として、地域産業の活性化や雇用の促進が期待される「佐野田沼インター産業団地（田沼町）」や「佐野AWS産業団地（三好町）」の現状を学ぶことは、大切であると考えました。

また、フィルムコミッションは映画やドラマ等映像作品の撮影を誘致し支援をする組織ですが、佐野市では平成24年10月に、佐野フィルムコミッションが設立されました。近年、映画やドラマ等映像作品の撮影が多く行われております。映像作品を通じて、都市イメージの向上、地域の魅力の発信、経済波及効果等、地域活性化につながるるとともに、町会の活性化にとっても大きなチャンスと考え、視察を行いました。

### 研修内容

講師に佐野市観光協会事務局局長の一川氏や同会フィルムコミッション担当の小堀氏及び佐野市企業誘致課職員を迎えました。  
2つの産業団地では、どのよう

な企業が進出しているのかを学び、視察先の「あわしま堂」では、地域に住む住民の雇用を行うとともに、地域と協働して活性化していきたいとのお話をいただきました。

### 今後の展望

産業団地造成による、佐野市及び地域への経済効果は計り知れないものがあります。地元企業と協働して地域を活性化していくことは非常に重要であり、少子高齢社会の現代において働く場所が増え、若い住民が増えることは非常に喜ばしいことです。また、映像作品のロケでは、佐野のイメージアップのみならず、地元へお弁当の発注をはじめ宿泊等によりこれまで一千万円以上の経済波及効果を生み出しており、地域活性化の大きなチャンスと



とらえ、町会としても協力をを行い、町会の活性化につなげていけるものと考えています。

# 町会での防災活動・防災対策の取り組み紹介

## ～ 栃本町自主防災会 (栃本上町会・下町会) ～



東日本大震災や昨年(2013年)の東日本豪雨などを目の当たりにし、防災への意識が日々高まっているところです。今回は、栃本地区で行った防災活動・防災対策の取り組みについてご紹介します。



学校長指示のもと、保護者へ安全メールを送信し、児童の保護者への引き渡し訓練を行いました。また、訓練終

**開催した経緯**  
 去る9月9日、防災訓練を通して防災活動の効果的な実施と技術の向上を目指すとともに、町会の防災に関する理解と意識の高揚を図るため、地域の防災拠点でもある栃本小学校と連携し、栃本町自主防災会の避難訓練を実施しました。

**避難訓練内容**  
 震度4以上の地震が発生し、校内の放送設備が使用不可、校内3階壁に亀裂が発生したと想定して、



栃本地区で地域・学校が連携した避難訓練を栃本小学校で実施

**避難訓練を終えて**  
 栃本町自主防災会白澤勝男会長談  
 「当初の目的は概ね達成することが出来ました。各班に振り分けられた役割、他の班との連携等、漠然としていた事が訓練後に少しずつではあるが見えてきたような気がします。今後、これを確実なものとするため、避難訓練等の実施を行い、防災・減災に努めていきたいと思えます。また、体育館に設置してある防災備品の使用方法を教わり大変参考になりました。」



了後、栃本町自主防災会の会議を開催し、避難所開設から避難所運営の初動について割り振られた班ごとに役割の確認を行

### 編集後記

◆各種表彰を受賞されました、町会長、町会役員、町会の皆様、誠におめでとうございます。今後のさらなる活躍を期待します。

◆関川町で行われた防犯活動では、定期的に行うことにより、犯罪の減少のみではなく、地域住民の絆を深める効果もありますので、このような活動が広まっていくことに期待します。

◆栃本地区では地域と学校が連携し、避難訓練が行われました。東日本大震災から5年が経ちますが、震災等の自然災害の減災のためには、自助共助といった地域での助け合いが肝要になってきますので、これからの取組みにも期待しております。

◆浅沼町会内にあるおしどり塚は、佐野かるた等にもあるように非常に佐野にゆかりのある大切な文化財です。この文化財が浅沼町会によって整備されたことは大変喜ばしいことです。

◆地域が盛んになるためには、日頃から住民同士の絆づくりが大切ではないでしょうか。まず出来ることから、毎日近所の皆で挨拶を交わし、明るい地域づくりに共に取り組みましょう。

発行者 佐野市町会長連合会

T027-85001

栃木県佐野市高砂町1

佐野市役所 6階

02833-20138-2

発行責任者 上岡良雄  
 編集部長 田中正美  
 編集部会長 室岡宣幸  
 編集部委員 土澤康一  
 影澤修一

小野一郎 坂本秀之  
 向田守男 別井直彦

▼佐野市町会長連合会は全域167町会で組織されています。